



南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！チャレンジ南関中」

南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

NO. 9 (文責 永杉尚久)

前期後半スタート

8月27日学校が再開しました。この夏休み期間中大きな事故もなく、全員が無事に過ごせたことにホッとしています。ただ、新型コロナウイルス感染症や大雨の被害を心配したことも事実です。

学校が始まるにあたり、生徒たちに次の2点を話しました。

- ①夏休み中にいろんな出来事に触れて、感じ・考えたことを大切にしたい。「感じる心」を持つことがみんなの成長につながる。
- ②前期の終了に向かって「自分の限界に挑戦」して欲しい。自分の力を出し切る場面はたくさん用意されている。1つ1つに目標を持って取り組んで欲しい。

残暑が厳しい中、熱中症対策と新型コロナウイルス感染防止を徹底させながら、南関中での学びを1日1日積みあげていきます。

ありがとうございました。PTA作業

早朝よりおいでいただいた方々、また事前に作業を行っていただいた方々、除草作業お世話になりました。おかげで、すっきりした環境の中で学習をスタートできます。

「きれいに刈られた土手
の下から校舎を見ると、青
空に白い校舎がくっきりと
浮かんで見えました。」



3年生に「はし置き」の贈呈

27日に南関宿場町伝楽人の宮尾洋一会長様が来校され、3年生全員に箸置きを寄贈いただきました。毎年3年生の夢の実現に向かって頑張ってくれるようにと願いを込めて贈られているものです。コロナの影響のため、校長が代表で受け取り、学級毎に一人一人に渡しました。



今日の論語

子曰く「人の力を知りて己の力を患えず、己の無能を患ふ。」

先生は言われた、「人が自分の能力を知ってくれないことなどに気がかけず、自分の能力が至らないことに気を配ることが大切だ。」と。

失敗した時や自分の力が十分に発揮できない時に、私たちは人のせいにしがちです。「自分はこれだけやっているのに、なぜあの人は分かってくれないのだろう。」そうではなく、自分の至らなさに気付き、失敗に正面から向き合う。そうすることで、自分の力を伸ばすことができるのではないかと思います。自分を客観的に分析する力を身に付けたいものです。

再度チャレンジ！体育大会

9月4日(土)は、延期しておりました体育大会の実施日です。コロナウイルス感染拡大と熱中症、そして天候が気になるところですが、実施に向けて準備を進めています。

先日、2人の団長(島田さん、寺嶋君)が校長室に訪れて、「いつもと違う形での開催に戸惑いもあります。3年間の大切な思い出になるよう全力で頑張りたい。」と改めて体育大会への決意を述べてくれました。

一度盛り上がり過ぎていた気持ちを再度温め直すのは、なかなか難しいことです。また、ダンスを思い出したり、変更になったプログラムへの準備をしたりすることは大変な事だと思っています。しかし、南関中の生徒たちはそれを乗り越える力を持っていると私は信じています。体育大会が、無事に開催できることを祈るのみです。